# 令和元年度 佐世保市の環境問題に関する アンケート集計結果(概要版)

令和2年4月 佐世保市環境部環境政策課

#### 1 アンケートの目的

環境行政を効果的に推進するにあたり、市民や事業者の問題意識や取組状況、環境行政へのニーズを把握し、今後の環境行政の展開に活用する。

また、佐世保市環境基本計画の成果指標となっている項目の達成度を当該アンケートにより把握するもの。

#### 2 アンケートの対象

(I) 市民

佐世保市内に居住する20歳以上の男女(令和2年1月1日現在)のうち、支所及び行政センター管轄別の人口割合に応じて無作為に抽出した3,000名(男性1,500名、女性1,500名)

(2) 事業所

佐世保市内の事業所から無作為に抽出した250事業所

## 3 調査方法

郵送による配布・回収(督促なし)

#### 4 調査期間

令和2年2月7日(金)~3月6日(金)

#### 5 回収結果

(1) 市 民: 1,129 名(回収率:37.6%)

(2) 事業所: 121 事業所(回収率:48.4%)

## 6 調査結果

## 関心が高い環境問題について

#### 《市民》

最も関心が高い項目は、前年度と同じく「地球温暖化」であった。

ごみに関する項目(「ごみの減量、リサイクル」、「食品ロス」、「ごみのポイ捨てと不法投棄」)が、関心が高くなっている。

(関心が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	地球温暖化	921	81.6%	9.0	72.6%
2	ごみの減量、リサイクル	696	61.6%	5.1	56.6%
3	食品ロス	685	60.7%	3.9	56.8%
4	大気汚染 (空気の汚れ)	666	59.0%	0.5	58.5%
5	ごみのポイ捨てと不法投棄	627	55.5%	∆3.0	58.6%
6	排水による、川や海の水の汚れ	524	46.4%	1.8	44.6%
7	再生可能エネルギー	496	43.9%	3.4	40.5%
8	外来種の繁殖による生態系などへの影響	407	36.0%	3.2	32.9%
9	身近な自然の減少	362	32.1%	1.5	30.5%
10	野生生物や希少な動植物の減少	286	25.3%	4.1	21.3%
- 11	土壌汚染	236	20.9%	3.2	17.7%
12	騒音、振動	225	19.9%	△2.9	22.8%
13	悪臭	208	18.4%	△1.7	20.1%
14	その他	51	4.5%	0.0	4.5%
14	無回答	51	4.5%	2.7	1.8%
	合 計	6,441			

※ 有効回答数(N):1,129名

#### 《事業所》

最も関心が高い項目は、前年度と同じく「地球温暖化」であり、前年度からの割合も上昇している。

(関心が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
- 1	地球温暖化	79	65.3%	4.5	60.8%
2	ごみの減量、リサイクル	59	48.8%	2.1	46.7%
3	大気汚染(空気の汚れ)	50	41.3%	7.2	34.2%
4	再生可能エネルギー	49	40.5%	1.3	39.2%
5	排水による、川や海の水の汚れ	43	35.5%	0.5	35.0%
6	ごみのポイ捨てと不法投棄	38	31.4%	3.1	28.3%
7	食品ロス	33	27.3%	1.4	25.8%
8	騒音、振動	29	24.0%	4.0	20.0%
9	身近な自然の減少	26	21.5%	5.7	15.8%
10	外来種の繁殖による生態系などへの影響	20	16.5%	4.9	11.7%
- 11	土壌汚染	18	14.9%	△0.1	15.0%
12	悪臭	14	11.6%	1.6	10.0%
13	野生生物や希少な動植物の減少	13	10.7%	0.7	10.0%
14	その他	4	3.3%	0.8	2.5%
14	無回答	4	3.3%	0.8	2.5%
	合 計	479			

※ 有効回答数(N):121事業所

## 住まいの周辺環境の満足度

《市民のみ》

「満足」又は「やや満足」と回答した人が多かった項目は、前年度と同様に「自然の景観の美しさ」であり、「環境に関する講座や観察会などのイベント」が最も低かった。

(「満足」、「やや満足」と回答した人の割合が高い順)

						, , , , , ,		
No.	質問事項 ()内の数値は「満足」、「やや満足」と 回答した人の割合の合計	満足	やや満足	いえない	やや不満	不満	無回答	合計
	自然の景観の美しさ	169	503	247	125	29	56	1,129
	(59.5%)	15.0%	44.6%	21.9%	11.1%	2.6%	5.0%	100%
2	ごみが決められたルールどおりに出されるように	158	508	238	139	40	46	1,129
	するための取り組み (59.0%)	14.0%	45.0%	21.1%	12.3%	3.5%	4.1%	100%
3	まちの静けさ	154	441	298	152	39	45	1,129
	(騒音や振動など) (52.7%)	13.6%	39.1%	26.4%	13.5%	3.5%	4.0%	100%
4	ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み	80	475	364	129	28	53	1,129
	(49.2%)	7.1%	42.1%	32.2%	11.4%	2.5%	4.7%	100%
5	空気のきれいさ	114	372	338	196	59	50	1,129
	(車の排気ガス、空気のかすみなど) (43.0%)	10.1%	32.9%	29.9%	17.4%	5.2%	4.4%	100%
6	地産地消の推進	76	37 I	455	126	21	80	1,129
	(39.6%)	6.7%	32.9%	40.3%	11.2%	1.9%	7.1%	100%
7	まちの清潔さ・きれいさ	60	369	257	300	96	47	1,129
	(ごみの散乱・ペットのふんなど) (38.0%)	5.3%	32.7%	22.8%	26.6%	8.5%	4.2%	100%
8	海、山、川、里山などの自然環境の保全	61	360	387	190	70	61	1,129
	(37.3%)	5.4%	31.9%	34.3%	16.8%	6.2%	5.4%	100%
9	水のきれいさ	58	350	37 I	249	56	45	1,129
	(河川・水路・池沼・海など) (36.1%)	5.1%	31.0%	32.9%	22.1%	5.0%	4.0%	100%
10	自然とふれあう機会	85	319	45 I	161	41	72	1,129
	(水辺、農地や土、生きものなど) (35.8%)	7.5%	28.3%	39.9%	14.3%	3.6%	6.4%	100%
- 11	環境に関する市からの情報提供	66	309	517	139	41	57	1,129
	(広報紙、テレビ、ホームページなど) (33.2%)	5.8%	27.4%	45.8%	12.3%	3.6%	5.0%	100%
12	省エネルギーの取り組み	30	237	599	153	41	69	1,129
	(23.6%)	2.7%	21.0%	53.1%	13.6%	3.6%	6.1%	100%
13	公共交通機関の便利さ	66	194	259	317	248	45	1,129
	(23.0%)	5.8%	17.2%	22.9%	28.1%	22.0%	4.0%	100%
14	再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力	40	200	586	165	77	61	1,129
	発電などの、枯渇しないエネルギー) (21.3%)	3.5%	17.7%	51.9%	14.6%	6.8%	5.4%	100%
15	自治会やNPO団体などの環境保全活動	35	174	719	95	35	71	1,129
	(18.5%)	3.1%	15.4%	63.7%	8.4%	3.1%	6.3%	100%
16	環境に関する講座や観察会などのイベント	23	119	775	108	31	73	1,129
	(12.6%)	2.0%	10.5%	68.6%	9.6%	2.7%	6.5%	100%

## 住まいの周辺環境の重要度

《市民のみ》

「重要」又は「やや重要」と回答した人が多かった項目は、「水のきれいさ(河川・水路・池沼・海など)」であり、「環境に関する講座や観察会などのイベント」が最も低かった。

(「重要」、「やや重要」と回答した人の割合が高い順)

				I		-	-		1
No.	質問事項 ()内の数値は「重要」、「やや重要」と 回答した人の割合の合計		重要	やや重要	いえない	でない重要	重要でない	無回答	合計
1	水のきれいさ		685	272	60	4	- 1	107	1,129
	(河川・水路・池沼・海など) (84.8	3%)	60.7%	24.1%	5.3%	0.4%	0.1%	9.5%	100%
2	まちの清潔さ・きれいさ		634	316	58	8	2	111	1,129
	(ごみの散乱・ペットのふんなど) (84.	۱%)	56.2%	28.0%	5.1%	0.7%	0.2%	9.8%	100%
3	海、山、川、里山などの自然環境の保全		704	244	70	4	3	104	1,129
	(84.0	0%)	62.4%	21.6%	6.2%	0.4%	0.3%	9.2%	100%
4	空気のきれいさ		684	252	67	8	1	117	1,129
	(車の排気ガス、空気のかすみなど) (82.9	7%)	60.6%	22.3%	5.9%	0.7%	0.1%	10.4%	100%
5	ごみが決められたルールどおりに出されるよ	うに	627	307	77	9	3	106	1,129
	するための取り組み (82.)	7%)	55.5%	27.2%	6.8%	0.8%	0.3%	9.4%	100%
6	ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り	且み	620	296	93	9	2	109	1,129
	(81.	l %)	54.9%	26.2%	8.2%	0.8%	0.2%	9.7%	100%
7	自然の景観の美しさ		558	346	99	9	I	116	1,129
	(80.	l %)	49.4%	30.6%	8.8%	0.8%	0.1%	10.3%	100%
8	公共交通機関の便利さ		589	299	114	12	3	112	1,129
	(78.	7%)	52.2%	26.5%	10.1%	1.1%	0.3%	9.9%	100%
9	省エネルギーの取り組み		565	286	150	6	4	118	1,129
	(75.4	4%)	50.0%	25.3%	13.3%	0.5%	0.4%	10.5%	100%
10	まちの静けさ		424	420	151	18	6	110	1,129
	(騒音や振動など) (74.8	3%)	37.6%	37.2%	13.4%	1.6%	0.5%	9.7%	100%
- 11	再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、	水力	604	239	159	10	5	112	1,129
	発電などの、枯渇しないエネルギー) (74.	7%)	53.5%	21.2%	14.1%	0.9%	0.4%	9.9%	100%
12	自然とふれあう機会		426	397	164	22	2	118	1,129
	(水辺、農地や土、生きものなど) (72.9	7%)	37.7%	35.2%	14.5%	1.9%	0.2%	10.5%	100%
13	地産地消の推進		427	350	211	17	4	120	1,129
	(68.	3%)	37.8%	31.0%	18.7%	1.5%	0.4%	10.6%	100%
14	環境に関する市からの情報提供		353	378	256	18	6	118	1,129
	(広報紙、テレビ、ホームページなど) (64.	7%)	31.3%	33.5%	22.7%	1.6%	0.5%	10.5%	100%
15	自治会やNPO団体などの環境保全活動		259	312	402	24	13	119	1,129
	(50.	5%)	22.9%	27.6%	35.6%	2.1%	1.2%	10.5%	100%
16	環境に関する講座や観察会などのイベント		210	317	429	35	14	124	1,129
	(46.	7%)	18.6%	28.1%	38.0%	3.1%	1.2%	11.0%	100%

## 環境に関する経営方針や管理手法の導入

## 《事業所のみ》

「既に実施している」又は「今後、実施したい」と回答した事業所の割合が最も多かった項目は、「自主的な環境管理計画の策定」の9.9%であったが、全体的に、環境に関する経営方針や管理手法の導入が進んでいない。

(「既に実施している」、「今後、実施したい」と回答した事業所の割合が高い順)

No.	質問事項 ()内の数値は「既に実施している」、 「今後、実施したい」と 回答した人の割合の合計	している 既に実施	実施したい	中である現在、検討	実施の予定	か知らない	無回答	合計
	自主的な環境管理計画(環境に配慮した原材料、物品、	6	6	16	65	14	14	121
	サービスなどの購入ガイドライン)の策定 (9.9%[10.9%])	5.0%	5.0%	13.2%	53.7%	11.6%	11.6%	100%
2	環境担当部門や担当者の配置	8	I	12	74	1.1	15	121
	(7.4%[7.5%])	6.6%	0.8%	9.9%	61.2%	9.1%	12.4%	100%
3	環境報告書の作成	6	2	4	83	11	15	121
	(6.6%[5.0%])	5.0%	1.7%	3.3%	68.6%	9.1%	12.4%	100%
4	ISO 400 の認証取得	6	0	2	77	21	15	121
	(5.0%[7.5%])	5.0%	-	1.7%	63.6%	17.4%	12.4%	100%
5	環境に関する内部監査の実施	6	0	3	87	11	14	121
	(5.0%[6.6%])	5.0%	-	2.5%	71.9%	9.1%	11.6%	100%
6	エコアクション21の認証取得	3	1	9	64	27	17	121
	(3.3%[2.5%])	2.5%	0.8%	7.4%	52.9%	22.3%	14.0%	100%
7	その他の環境マネジメントシステムの導入	0	2	6	74	22	17	121
	(1.7%[5.8%])	_	1.7%	5.0%	61.2%	18.2%	14.0%	100%
8	その他	0	0	2	0	0	119	121
	(-%[-%])	_	-	1.7%	-	-	98.3%	100%

## <u>日頃行っている環境保全の取り組み</u> 《市民》

「いつも行っている」又は「時々行っている」と回答した人の割合が高かった項目は、前年度と同様に「ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている」であった。

(「いつも行っている」、「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

	('いつも行っ(いる	<u> </u>	× 11 ) (		日台()	C/(V/E	1000	
No.	質問事項 ()内の数値は「いつも行っている」、	行っていても	行ってい	今後行いな	ていない今後も行わ	該当しか	無回	合計
	「時々行っている」と回答した人の割合の 合計、[]内は前年度の割合*	いもる	いる	たいが	い行っ	ない	答	
	ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに	700	125	•			4.77	1 100
1	Sめている (91.9%[93.4%])	902 79.9%	135	3.6%	4 0.4%	-	4.2%	1,129
2	油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている	846	186	40	7	_	50	1.129
	(91.4%[91.8%])	74.9%	16.5%	3.5%	0.6%	_	4.4%	100%
3	車を使用する時は、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などを	661	222	35	12	144	55	985
	しないようにしてエコドライブを行っている (89.6%[90.1%])	67.1%	22.5%	3.6%	1.2%	-	5.6%	100%
4	物は大切にし、修理したりして長く使うようにして	522	441	101	16	_	49	1,129
	いる (85.3%[85.4%])	46.2%	39.1%	8.9%	1.4%	_	4.3%	100%
5	歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使った	625	318	95	39	_	52	1,129
	り、日常の生活で節水に努めている (83.5%[84.4%])	55.4%	28.2%	8.4%	3.5%	-	4.6%	100%
6	食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さない	595	343	112	20	-	59	1,129
	するなど、エコクッキングを行っている (83.1%[82.1%])	52.7%	30.4%	9.9%	1.8%	_	5.2%	100%
7	シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけて	450	267	75	28	248	61	881
	いる (81.4%[82.2%])	51.1%	30.3%	8.5%	3.2%	_	6.9%	100%
8	皿洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、	524	368	103	77	-	57	1,129
	水を使うようにしている (79.0%[79.0%])	46.4%	32.6%	9.1%	6.8%	-	5.0%	100%
9	テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、	431	460	139	48	_	51	1,129
	省エネに心がけている	38.2%	40.7%	12.3%	4.3%	_	4.5%	100%
9	買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、	502	389	138	48	-	52	1,129
	レジ袋はもらわないようにしている (78.9%[73.9%])	44.5%	34.5%	12.2%	4.3%	_	4.6%	100%
11	食材は地元産の旬のものを購入するよう努めて	365	467	173	64	-	60	1,129
	いる (73.7%[76.5%])	32.3%	41.4%	15.3%	5.7%	-	5.3%	100%
12	詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマーク	427	392	192	63	-	55	1,129
	のついた商品を優先して購入している (72.5%[76.3%])		34.7%	17.0%	5.6%	-	4.9%	100%
13	生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり、	473	343	203	55	-	55	1,129
	生ごみの減量に取り組んでいる (72.3%[69.9%])		30.4%	18.0%	4.9%	ı	4.9%	100%
14	冷暖房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃	374	355	190	138	_	72	1,129
	を目安としている (64.6%[66.1%])	33.1%	31.4%	16.8%	12.2%	ı	6.4%	100%
15	地域における環境保全活動に参加している	323	274	257	206	_	69	1,129
	(地域の清掃、資源集団回収など) (52.9%[53.5%])	28.6%	24.3%	22.8%	18.2%	ı	6.1%	100%
16	山や海などの自然にふれあう機会を持っている	170	400	347	147	_	65	1,129
	(50.5%[52.0%])	15.1%	35.4%	30.7%	13.0%	-	5.8%	100%
17	なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒	248	289	295	230	_	67	1,129
	歩を心がけている (47.6%[47.5%])	22.0%	25.6%	26.1%		-	5.9%	100%
18	環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となっ	142	152	372	374	_	89	1,129
	ているかチェックしている (26.0%[24.4%])	12.6%		32.9%		-	7.9%	
19	環境保全に関するイベントや講座などに参加している(させぼ	13	84	495	464	_	73	1,129
	エコプラザ・九十九島ビジターセンターなど) (8.6%[7.6%])		7.4%	43.8%	41.1% ま <u>41.1</u> %	_		100%

※「該当しない」を除いた割合で計算

## 日頃行っている環境保全の取り組み

#### 《事業所》

「いつも行っている」又は「時々行っている」と回答した事業所が最も多かった項目は、前年度と同様に「紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している」であった。

(「いつも行っている」、「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

	[ V > 0 1] > ( V > 0							
	質問事項	行	行	今行った	い今	該		
		っい	つ時	後て	てままも	当	無	合
No.	()内の数値は「いつも行っている」、	てつ	\(\alpha\)	(, (,	かたた	l	回	計
	「時々行っている」と回答した事業所の割合の	いも	ارا ا	たない	い行わ	な	答	
	合計、[]内は前年度の割合*	3	3	いが	つなっ	ι,		
- 1	紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置	94	17	5	1	2	2	119
	し、分別して適正に処理している (93.3%[88.7%])	79.0%	14.3%	4.2%	0.8%	-	1.7%	100%
2	コピー用紙の使用量を減らしている	59	39	11	6	-	6	121
	(両面コピーや裏紙の利用等) (81.0%[79.2%])	48.8%	32.2%	9.1%	5.0%	-	5.0%	100%
3	昼休み等、不要な時は電気を消灯している	58	34	10	14	-	5	121
	(76.0%[74.2%])		28.1%	8.3%	11.6%	-	4.1%	100%
4	冷暖房の時間短縮や設定温度 (目安:冷房28℃、	40	50	13	13	-	5	121
	暖房20℃)を徹底している (74.4%[70.9%])	33.1%	41.3%	10.7%	10.7%	-	4.1%	100%
4	ごみの分別に関する従業員への指導を実施して	53	37	13	12	-	6	121
	(74.4%[-%])	43.8%	30.6%	10.7%	9.9%	-	5.0%	100%
6	包装・梱包の削減、再利用をすすめている	36	49	20	7	-	9	121
	(70.2%[54.2%])	29.8%		16.5%	5.8%	-	7.4%	100%
7	コピー用紙には再生紙を使用している	46	36	23	12	-	4	121
	(67.8%[70.8%])				9.9%	-	3.3%	100%
8	古紙を使ったトイレットペーパーを使用している	41	36	26	13	_	5	121
	(63.6%[66.7%])	33.9%		-	10.7%	-	4.1%	100%
9	不必要なアイドリングをやめるよう徹底している	35	39	18	21	-	8	121
10	(61.2%[57.5%])	28.9%			17.4%	-	6.6%	100%
10	エコカー(低公害車や低燃費車)を導入している	45	20	34	15	-	7	121
	(53.7%[42.5%]) 事業所内や周辺地域の緑化に努めたり、事業所周辺や、公園・道路	37.2%		28.1%	12.4%	-	5.8%	100%
		28	36	29	22	-	6	121
10	の清掃など地域活動へ参加したりしている (52.9%[47.9%])	23.1%		24.0%		-	5.0%	
12	グリーン購入を行っている	10	36	53	16	-	6	121
1.2	(38.0%[38.3%])	8.3%	29.8%			-	5.0%	
13	使用していない時は、パソコンやコピー機等のコン	15	25	33	42	-	6	
1.4	セントを抜いている (33.1%[35.8%])					-	5.0%	
14	省エネのため製造工程や製造ラインを改善して	8	10	25		56		65
LE	いる (27.7%[42.7%])			38.5%		-	16.9%	
15	省エネのための効率的な輸配送システムがある	7	8	16	21	59	10	62
1.6	(24.2%[21.6%])	11.3%		25.8%		_	16.1%	100%
10	雨水や一時使用した水を再利用している	10	7 10	24	71	_	5	121
17	(17.4%[17.5%]) 環境保全に関する従業員研修を実施している			19.8%		_	4.1% 7	100%
17		2 20/	14	22.0%	55 45 <b>.</b> 5%	_		121
IΩ	(14.9%[15.8%])  自社製品、サービスにおける環境配慮内容を明示		3	33.9% 47	45.5%	_	5.8%	100%
18			2.5%			_	11.6%	100%
19		10.7%	2.5%	16	75	- 18	8	100%
19	/ - マイガーカーを等入りるなど、従来員のマイ  カー出勤を自粛させている (3.9%[14.4%])	3.9%		15.5%		10	8 7.8%	
	// 山到と口承とと(いる (5.4%[14.4%])	3.4%	0.0%			- ヽıを除ぃ		

※「該当しない」を除いた割合で計算。

## 日常の取り組みで障害と感じていること 《市民》

障害と感じている人の割合が最も多かった項目は、前年度と同様に「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

(障害と感じている割合が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
- 1	環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	379	33.6%	△ 0.1	33.7%
2	手間がかかる	275	24.4%	0.4	24.0%
3	取り組みを持続することが難しい	273	24.2%	0.2	24.0%
4	何をどのように取り組めば良いのかわからない	251	22.2%	△ 3.4	25.6%
5	取り組んだ成果が実感できない	218	19.3%	△ 1.5	20.8%
6	特に障害を感じることはない	217	19.2%	△ 0.4	19.6%
7	取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	164	14.5%	△ 2.7	17.2%
8	取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	155	13.7%	△ 1.4	15.1%
9	無回答	147	13.0%	2.5	10.5%
10	行うきっかけがない	134	11.9%	△ 1.6	13.5%
11	今の生活が快適なので、変えたくない	94	8.3%	0.1	8.2%
12	その他	43	3.8%	0.7	3.1%
	合 計	2,350			

※ 有効回答数(N):1,129名

## 《事業所》

障害と感じている事業所の割合が最も高かった項目は、「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であり、前年度より10.5ポイント上昇した。

(障害と感じている割合が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
- 1	環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	51	42.1%	10.5	31.7%
2	何をどのように取り組めば良いのかわからない	37	30.6%	△ 2.8	33.3%
3	手間がかかる	34	28.1%	0.6	27.5%
4	特に障害を感じることはない	25	20.7%	△ 4.3	25.0%
5	取り組みを持続することが難しい	21	17.4%	△ 4.3	21.7%
6	行うきっかけがない	20	16.5%	∆ 1.8	18.3%
7	取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	19	15.7%	2.4	13.3%
8	取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	16	13.2%	4.9	8.3%
9	無回答	12	9.9%	0.8	9.2%
10	取り組んだ成果が実感できない	10	8.3%	△ 2.6	10.8%
1.1	自社だけ取り組んでも仕方がないと思う	8	6.6%	△ 1.7	8.3%
12	表彰、認証制度がない	5	4.1%	2.5	1.7%
13	その他	3	2.5%	△ 0.9	3.3%
	合 計	261			

## 省エネルギー・再生可能エネルギー関連機器の設置・利用について 《市民》

	質問事項	現 在	今 度	安 〈	導 入	わ		
No.	()内の数値は、「現在利用している」、「今後導入を考えたい」、「安くなれば導入したい」と回答した人の割合の合計	は利用してい	な導入を考え	したいず入	はないもり	からない	無 回 答	合計
	電気自動車	25	72	424	290	167	151	1,129
•	(46.1%)	2.2%	6.4%	37.6%	25.7%	14.8%	13.4%	100%
2	太陽光発電	115	39	286	389	164	136	1,129
	(39.0%)	10.2%	3.5%	25.3%	34.5%	14.5%	12.0%	100%
3	家庭用燃料電池	31	43	281	343	276	155	1,129
3	(エネファーム) (31.4%)	2.7%	3.8%	24.9%	30.4%	24.4%	13.7%	100%
4	家庭用蓄電池	39	58	342	303	234	153	1,129
4	(38.9%)	3.5%	5.1%	30.3%	26.8%	20.7%	13.6%	100%
5	雨水貯留タンク	35	56	206	389	288	155	1,129
	(26.3%)	3.1%	5.0%	18.2%	34.5%	25.5%	13.7%	100%

## 《事業所》

	917111							
	質問事項	現 在	今 度	安 く	導 入	わ		
No.	()内の数値は、「現在利用している」、「今後導入を考えたい」、「安くなれば導入したい」と回答した事業所の割合の合計	利用してい	き入を考え	したい導入	はないもり	からない	無 回 答	合計
	太陽光発電設備	19	9	25	39	17	12	121
•	(43.8%)	15.7%	7.4%	20.7%	32.2%	14.0%	9.9%	100%
2	次世代自動車の導入	25	14	45	13	12	12	121
	(69.4%)	20.7%	11.6%	37.2%	10.7%	9.9%	9.9%	100%
7	雨水貯留タンク	6	14	17	50	23	1.1	121
3	(30.6%)	5.0%	11.6%	14.0%	41.3%	19.0%	9.1%	100%

# エコ資金について

## 《事業所のみ》

No.	質問事項	回答数	割合	前年度比	前年度
- 1	名前も具体的な内容も知っている	3	2.5%	△ 0.0	2.5%
2	名前は知っているが、具体的な内容は知らない	29	24.0%	△ 2.7	26.7%
3	初めて聞く名前である	81	66.9%	1.9	65.0%
4	無回答	8	6.6%	0.8	5.8%
	合 計	121			

# 「食品ロス」について

《市民のみ》

■ 日本の「食品ロス」の状況について、知っていたか。

項目	回答数	割合
知っていた	802	71.0%
知らなかった	197	17.4%
無回答	130	11.5%
合 計	1,129	

#### ■これまでに、食品を食べきることができずに、捨てたことはありますか。

項目	回答数	割合
捨てたことがある	828	73.3%
捨てたことはない	173	15.3%
無回答	128	11.3%
合 計	1,129	

## ■「捨てたことがある」と答えた方において、捨てた理由

項目	回答数	割合
食品の鮮度が落ちたり、腐ったり、カビが生えたから	638	77.1%
食品の消費期限・賞味期限を過ぎたから	477	57.6%
食品の色やにおいなどで、不安を感じたから	419	50.6%
食品が中途半端に余ったから	150	18.1%
その他	29	3.5%
合 計	1,713	

※ 有効回答数(N):828名

#### ■ 食品ロスをなくす取り組みをしているか

項目	回答数	割合
いつも行っている	350	31.0%
時々行っている	469	41.5%
行っているが、今後取り組んでみたい	129	11.4%
行っていないし、今後も取り組みたいと思わない	8	0.7%
無回答	173	15.3%
合 計	1,129	

# 「3010運動」について

《事業所のみ》

## ■「3010運動」について、知っていたか

項目	回答数	割合
知っていた	15	12.4%
知らなかった	99	81.8%
無回答	7	5.8%
合 計	121	

## ■「3010運動」について、取り組んだことがあるか

項目	回答数	割合
いつも取り組んでいる、または取り組んだことがある	8	6.6%
取り組んだことはないが、今後、取り組んでみたい	61	50.4%
取り組んだことはなく、今後も取り組んでみたいとは思わない	15	12.4%
宴会を開く機会がない	29	24.0%
無回答	8	6.6%
合 計	121	

## 「古紙類の資源化」について

《市民のみ》

■ 臭いや汚れのついた紙、加工された紙は「燃やせるごみ」になることを、知っていたか。

項目	回答数	割合
知っていた	931	82.5%
知らなかった	150	13.3%
無回答	48	4.3%
合 計	1,129	

■ 資源になる「古紙類」を燃やせるごみに出したことがあるか。

項目	回答数	割合
ある	482	42.7%
ない	589	52.2%
無回答	58	5.1%
合 計	1,129	

■「古紙類」を燃やせるごみに出したことが「ある」と回答した方において、どのような古紙を 燃やせるごみに出したか。

項目	回答数	割合
新聞	90	18.7%
雑誌(週刊誌、漫画、カタログなど)	140	29.0%
飲料用紙パック(牛乳パックなど)	247	51.2%
雑古紙(空き箱、封筒、メモ用紙、包装紙など)	387	80.3%
段ボール	85	17.6%
合 計	949	

※ 有効回答数(N):482名

#### ■ 古紙を燃やせるごみに出した理由

項目	回答数	割合
分別がわずらわしい	138	28.6%
資源物収集の日まで待てない	153	31.7%
置いておく場所がない	131	27.2%
資源として再生できると思っていない	46	9.5%
資源として再生する必要がないと思っている	14	2.9%
資源物として分別するべきことを知らなかった	51	10.6%
何が「資源になる古紙類」に該当するか分からない	74	15.4%
その他	115	23.9%
合 計	722	

※ 有効回答数(N):482名